

重機土工工事における原価管理

—オフコンによる機械管理サブシステムについて—

鹿島建設㈱ 魚住敏和

1. はじめに

当社は昭和53年以来、現場管理の合理化、省力化、及び、質的向上を図る手段としてオフコンを導入してきた。高度な現場マネジメント活動を正確に、しかも迅速に行うには、複雑多岐にわたる現場内業務をいかに整理し、体系化し、これを効率的に処理するかが重要である。そのためには必然的にトータル化指向が重要となり、図-1に示す工事管理システムの開発を行い、現場管理に適用して来ている。

当報告では、重機土工工事における工事管理において、最も重要なポイントとなる機械管理サブシステムについて説明する。

力することもできるが、図-3に示すマークシートによりマークシートリーダを通して直接オフコンに入力することもできる。特にマークシートを利用すれば、データ入力作業を大幅に軽減（キーボード入力の約1/20）することができる。

(1) 入力

- ① 機械毎に工種別稼働時間、休止時間及びオペレータ就業時間など。
- ② 機械毎に油脂燃料費をはじめとする費用データ。

(2) 出力

- ① 機械毎に稼働時間、稼働率、休止率、整備率などを含めた稼働状況を把握するための資料。
- ② 工種・機械毎に稼働状況と原価実績を把握するための資料。

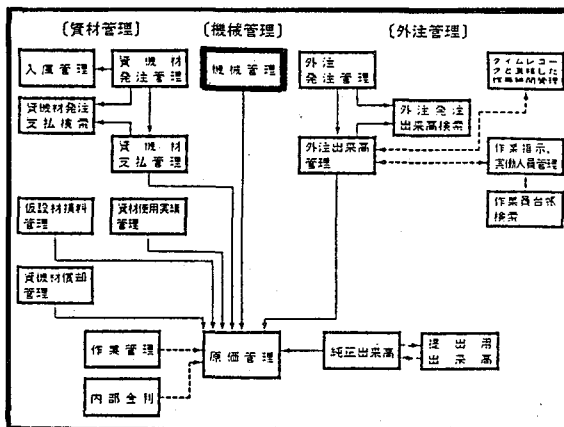


図-1 工事管理システム概念図

2. 機械管理サブシステムの概要

機械の運転時間、整備時間などの重機作業日報データ及び費用発生データに基づき、機械の稼働状況、機械費用の発生状況、歩掛りなどを把握するための種々の管理資料をタイムリーに提供するシステムである。当システムの概念図を図-2に示す。

重機作業日報のデータはキーボードを使って手入

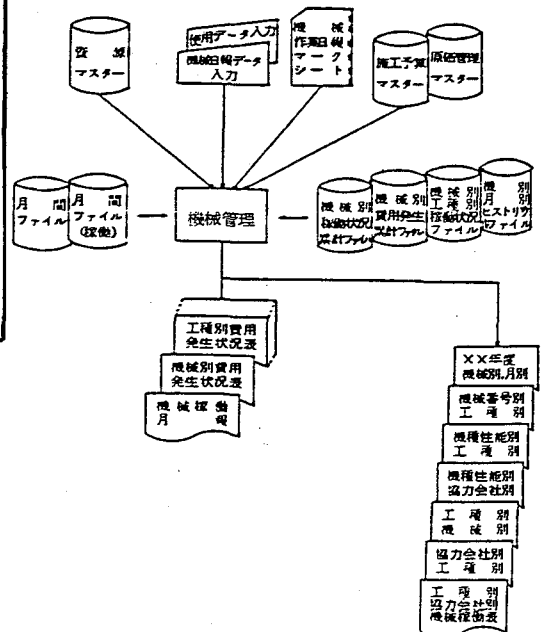


図-2 機械管理サブシステム概念図

3. おわりに

当システムを利用することにより、管理資料作成に要するマンパワーの大幅な低減が図られている。又、タイムリーに得られる各種管理資料によって機械の効率的な配置と適正な整備がスムーズに行えるなど「攻めの管理」が可能になり、原価低減に寄与している。

[illegible]

図-3 重機作業日報マークシート